

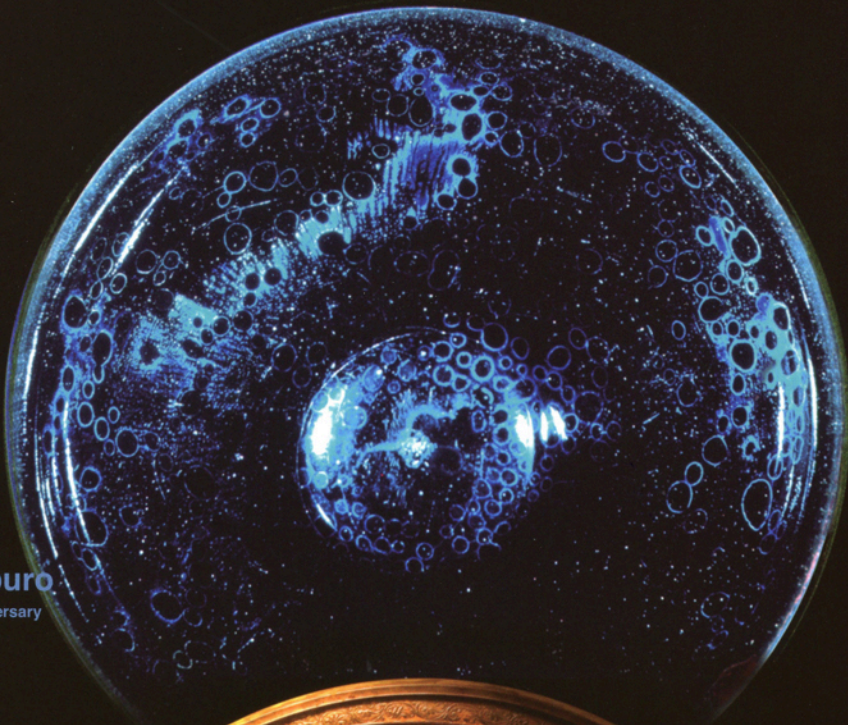
10

Oct.

〒600-0001 京都府京都市中京区錦町1-10-10

特集 関西の二大実業家が護った東洋の宝

藤田美術館 白鶴美術館



目
の
眼

MIND'S EYE



Fujita Denzaburo
Fujita Museum 60th Anniversary



Kano Jihei
Hakutsuru Fine Art Museum
80th Anniversary

Series of "Mind's Eye"

茂木健一郎 美の仕事を追う
～脳科学者、骨董街を奔る！

脇屋友詞 × 大里成子 厨人×器人

委霞軒主人 茶陶閑談
藤原工 清く正しく自然な照明テクニック
菊地信義 市がよい

特別対談

中田英寿×白洲信哉

民藝が見える貴重なフィルム

民藝運動ドキュメンタリー・フィルム DVD 制作中

映像プロデューサー マーティ・グロス氏



ろくろを回す濱田庄司(益子 1934〜35年頃 バーナード・リーチ撮影)

現在、民藝運動のドキュメンタリー・フィルムを制作しているカナダの映像プロデューサー、マーティ・グロス氏は長年日本文化に深い関心を持ち、これまでも日本の伝統芸能や工芸の映像作品を制作してきた。1979年には『文楽 冥途の飛脚』を制作。人間国宝の貴重な芸を映像に収め、欧米各国で公開された。日本では長い間未公開だったが、近年の文楽ブームで2011年に日本でも公開の運びとなった。グロスさんに見れば、やっと日本が追い付いてきたという感だろう。

2011年には、DVD作品『リーチ・ポタリー 1952 陶芸家バーナード・リーチの工房』も制作している。

グロスさんは、1974年に晩年のバーナード・リーチを訪ね、リーチ本人が撮影した16ミリフィルムを託された。その中から1952年のイギリス、セント・アイヴスのリーチ工房の映像をまとめ、DVDにしたのが先の作品だ。フィルムには、1934〜35年にリーチが日本滞在中に撮影したものもたくさんあった。それらを劣化や破損を修復し、DVDにする作業を進めている。ほとんどが未公開のもので、大変貴重な資料となるため、フィルムはそのまま保存するという。



益子・大誠窯 窯出し風景 1937年

フィルムには、柳宗悦、濱田庄司ら民藝運動の同人たち、益子での作陶、土瓶の絵付けや紙漉きなど、当時の貴重な記録が残されている。グロス氏は、映像に見える場所を訪ね、人物を探し、当時を知る人の話を聞くフィールドワークを続けている。「今記録しておかないともうわからなくなりませう。民藝運動を知るための貴重な記録を残したいと思っています」。

DVDは4枚5時間分、エッセイ、インタビューを掲載した小冊子をDVDボックスにまとめる予定。リーチのフィルムだけでなく、1937年に国際文化振興会が制作した「益子焼」などの関連フィルム、鈴木大拙の元秘書岡村美穂子氏のインタビューなどを収録する。また当時の映像を探しているので、資料や情報があったらぜ

ひ協力してほしいとグロスさん。また、民藝運動の総括的な資料を制作することのプロジェクトは完成までに25万ドルの費用がかかるとのこと、寄付の協力を募っている。貴重な資料を観ることができるようになるDVD、発刊が待たれるところだ。

問合せ

marty@martygrossfilms.com

寄付振込先

みずほ銀行赤坂支店

普通口座 0988138

Marty Gross Film Productions Inc.